

「庭上梅」

ていしょうのんめ



本井 康博

大学神学部教授

「もう一匹の龍」

今回の「庭上梅」名古屋公演は、東京の国立能楽堂に続く2度目の学外公演です。私はこのお能に関して、謡本作りの段階から係わらせていただきました。

本日は新島襄を初めて知った方もおられると思いますので、NHK大河ドラマの「龍馬伝」を借りて、時代背景を説明いたします。

坂本龍馬と新島襄は、直接の関係はなかったものの、ほぼ同時代を生きました。龍馬が7歳上です。龍馬は江戸に何度か出て、生活もしていますから、幕末（1

843年）の江戸で生まれた新島と神田あたりですれ違っている可能性があるかもしれません。

それに、共通の師匠を持っています。勝海舟、横井小楠です。特に勝海舟には新島も大いに私淑し、何篇かの書を揮毫してもらっています。新島が死んだ時には、幟を書いてくれました。新島の墓の字も、勝が裏表とも書いてくれました。

龍馬が亡くなった時、勝は大変力を落として、「一匹の龍を失った」と書き残しています。その8年後、新島が亡くなります。海舟にすれば、龍馬に続いてきながら「もう一匹の龍」を亡くした、とい

う悲しみでしょうね。

次に場所的にも、龍馬と新島、あるいは龍馬と同志社とは密接な関係があります。現在の本学今出川キャンパスは、龍馬が活躍した旧薩摩藩邸の跡地です。あそこで薩長盟約が結ばれた。私たちが現在歩いているあの道を、龍馬を始め、西郷隆盛や大久保利通、あるいは木戸孝允が歩いたのです。

このように龍馬と新島は同時代の人ですが、龍馬は明治維新前に暗殺されます。このころ新島はアメリカに留学中でしたから、帰ってきた時にもう龍馬はおりません。



しかし脱国前に戻りますと、新島は龍馬の甥と交渉がありました。沢辺琢磨（当時は山本琢磨）といひます。彼は江戸で時計拾得事件を起こし、首を刎ねられるか切腹を迫られるところを龍馬が逃がしてくれました。沢辺は越後を回って最後

は函館に落ちのびます。そこへ江戸を逃げ出して来た新島の脱国を手伝います。函館で新島の密出国を助けた日本人は3人います。そのひとり龍馬の甥でした。彼がいなければ今の同志社はなかったかもしれないですね。

宗教家新島がつくった同志社

新島は46歳11カ月という、今から見ると短い人生を、神奈川県の大磯で終えました。彼の生涯は、居住地で見ると、三つのステージに分けられます。第一ステージが江戸・神田での21年間。新島の父は上州安中藩の下級武士でしたから、新島は江戸藩邸（神田）上屋敷で生まれました。

第二ステージは、海外生活の約10年間です。函館からアメリカ船に乗せてもらい、上海、香港を経由してボストンに着きます。そしてアメリカを中心に留学生活をして、10年ぶりに横浜に帰ってくる。アメリカ留学8年、ヨーロッパに1年、船の上に1年です。

第三ステージは、横浜に帰ってから京都に学校を作った15年間です。私塾である同志社をそろそろ大学にしたいという

ので募金活動をしている時に前橋で倒れ、神奈川県大磯で亡くなります。

この三つのステージを、ぜひトータルに捉えてください。今日のお能でもそうですが、教科書や百科事典、人名事典などで紹介される新島は、第三ステージが中心です。日本史の教科書は特にそうです。新島襄は京都に今の同志社大学をつくった教育者であったと。私から見ると半分は正しい。実は宗教家であったというところが、残りの半分です。

アメリカで彼は洗礼を受け、神学校つまり大学院で牧師になる勉強をし、資格を取ります。横浜に帰る時は牧師であるばかりか、アメリカンボードと呼ばれるミッションから宣教師に任命されて日本に送り返されます。ですから同志社は15年間、この校長に、1円の給料も払っておりません。給与は全額ボストンから来ました。宣教師だからです。

宣教師が学校を作ってどうするのだという、宣教師側からの批判も強かったですね。宣教師の本職は伝道です。教会を作ることです。したがって教科書にあるように100%教育者だったという書き方は、私としては困ります。本業は、実はキリ



スト教のお坊さんなのです。

このことは、新島の生徒観あるいは人
生観、教育観に密接に関係してきます。
新島は敢えて京都にキリスト教主義の学
校を創った。早稲田や慶應と決定的に違
うのはこの点です。同志社は宗教をベ
ースにした学校です。したがって、キリス
ト教、信仰、あるいはミッション抜きに
新島の性格、同志社の性格はまるでつか
めません。

「一視同仁」と五平さん

例えば新島は、とことん人間を差別し
ません。あくまでも平等主義です。「一

視同仁」という言葉は、彼のためにある
のではないか、と思えるくらい徹底して
います。江戸でサムライ生活をした人に
しては極めて珍しい。

アメリカで彼は武士から近代的なシテ
イズン、つまり市民に変わりました。市
民から見れば、人間は平等です。姿、あ
るいは能力、性格はどうであれ、人間は
神が平等に造られた。自分も他人もフラ
ットなのだ。こういう人間観に立つて新
島校長は、学生一人ひとりを大切にしま
した。けっして呼び捨てにしませんでし
た。あの男尊女卑の時代、奥さんを「八
重さん」と呼びました。

新島は用務員も呼び捨てにしません。
初期の同志社に、松本五平という名物用
務員がいました。新島は「五平さん、○
○をしてください。○○をお願いします」
と言う。一方、学生たちは当然、呼び捨
てです。「おいっ！五平、ここが汚れて
るで」などと言う。学生に呼び捨てにさ
れて馬鹿にされるたびに、「君らは学が
ないから威張るけれど、新島先生は違う」
と説き聞かせます。

死んでも新島先生の墓守をしたい
というので、今でも新島の墓のある洛東

れども、誰も新島さんと呼んでくれない
ぜひ新島さんと呼んでほしい」と。

あるいは教師に対して、「教師は生徒
よりも偉いと思いがちだけれども、ひょ
つとしたら逆ではないか。教師は雀かも
しれない。生徒の中には鶴のような立派
な者がいるに違いない」と言っています。
今日のお能でも、最後に現役の学生が
乱舞してくれます。学生がお能に出るこ
とは、新島的には非常にふさわしいこと
です。

今日のお能は一部と二部に分かれ、そ
のあいだに間狂言が入ります。一部は当
然新島がシテですが、間狂言のシテは松
本五平です。つまり校長と用務員が共に
シテになるという構成。これまた、いか
にも同志社的であり、新島の的です。偉い
人が出て終わりというのではないのです。
もちろん八重も出てきます。新島以外に
有名人は、まったく出てきません。その
点に注目して、鑑賞していただきたいと
思います。

「敢えて」「笑うて」開く寒梅

最後に、お能のタイトルについてお話
します。これには新島が作った漢詩二

の若王子山に行く、同志社墓地の入口
脇に、五平さんの墓がひっそりと立って
います。彼の遺言を新島八重が聞き入れ
たのです。

新島が苦勞して建てた学校が、他の国
公立や私学と決定的に違うのは、やはり
牧師である校長が行なう教育という点で
す。精神教育です。いまの言葉で言う、
頭の教育に対して、心の教育も合わせて
行なう教育です。新島は「知徳併行主義」
と呼んでいます。

知育はこの学校でも行なっています。
でも、それだけで終わりがちなんです。
これに加えて徳育を行なうことが大事で
す。新島は「心育」という言葉を使って
います。21世紀になって、「心の教育」
ということが盛んに叫ばれます。

その言葉を新島は19世紀のあの時点で、
早くも使っていた。別の言葉で言えば「良
心教育」です。同志社が目指す精神教育
は、良心教育なのです。

用務員、学生が登場する「庭上梅」

お手元のパンフレットにも、詞章つま
りお能の言葉全文が活字になって載って
います。いきなり出てくるのが「良心」

つが関係します。「真理は寒梅の似 敢
て風雪を侵して開く」、ならびに「庭上
之一寒梅 笑ふて風雪を侵して開く 争
はず又力めず 自から占む百花の魁」と
いう二首。いずれも「寒梅」が主題です。
「風雪を侵して開く」というのが、共
通する文言です。ただし、それに係る副
詞が違っています。第一首は「敢えて開
く」、第二首は「笑うて開く」。新島のこ
は同じ意味です。

寒梅は外界の悪条件を敢えて侵して開
く。しかも、笑って開く。新島はこの寒
梅の精神、在り方に、自分の生き方を重
ねます。寒梅のように生きたいという気
持ちが、ありありと伝わってきます。

二首目は、亡くなる直前、大磯で作っ
た、と伝えられています。新島は最期の
ときを寒梅になりたいという気持ちで過
ごしたのです。庭の上の梅、これは新島
その人を指すと言えます。

両者に共通するのは凛とした立ち姿――
それに私たちも心引かれます。

(2010年11月13日、名古屋能楽堂で
の講話)

という言葉です。

最初のステージは、大磯での新島の臨
終シーンです。過去を思い、生徒を思い、
これからの日本をあれこれ思いめぐらせ
ながら、新島は大磯で人生を閉じようと
します。死ぬまで彼は良心を第一義的に
感じていました。

大磯の病院から、彼はたくさんの手紙
を発信しています。世の偉い人ではなく、
名もない若い卒業生や現役の学生たちに
です。そこでも彼は一人ひとりを大事に
する教育を実践しております。

同志社の新町キャンパスに新しい校舎
を建てた時、ビルをつなぐ10mほどの渡
り廊下に、新島の言葉が彫られました。
「諸君ヨ、人一人ハ大切ナリ 新島襄」。
神が造られたのだからどんな人も価値が
ある。校長たる自分と同じ、あるいはお
しろ自分よりも価値のある存在として、
新島は一人ひとりの隣人を見ていました。
全校集会の席で、こういう無茶なこと
も言いました。「皆さん、私を新島先生
と呼ばずに、新島さんと呼んでください」

と。泣くような声で哀願しています。こ
れは無理ですよ。彼は諦めず、もう一
回別の機会に懇願します「前に頼んだけ

同志社創立135周年記念事業報告

新島襄の志を受け継いで 135 年

2010年1月1日—2011年3月31日

—同志社創立150周年、さらなる200年の大計に向けて—

学校法人同志社は、2010年に創立135周年を迎えました。今後、さらに教育研究環境の整備充実を図り、同志社創立150周年、200年の大計に向け「良心ヲ手腕ニ運用スルノ人物」の育成をめざし、未来へ向けて限りない前進と躍進を続けるよう努めます。

学校法人 同志社

同志社創立135周年記念事業委員会

同志社創立135周年記念ロゴマーク

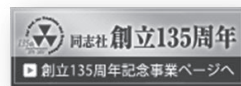
創立135周年を迎えるにあたり、この期間を通じて使用する同志社創立135周年記念のロゴマークを公募。小学生から社会人までの応募のなかから最優秀賞1点、優秀賞2点を決定した。

同志社創立135周年記念ロゴマーク

—入賞者表彰式—

2009年11月29日、創立134周年記念式典（大学神学館礼拝堂）において、入賞者へ表彰状と副賞を贈呈した。（同志社時報）129号に関連記事掲載）

同志社創立135周年記念事業のホームページ開設



<http://www.doshisha.ed.jp/>

1. 記念事業

大学キャンパス整備事業

教育研究体制の新たな展開を図るため、中学校の岩倉校地への統合移転に伴う跡地に「今出川キャンパス新棟（仮称）」、京都市から譲渡を受けた産業技術研究所繊維技術センター跡地（7758.74㎡）に新しく「烏丸キャンパス」を整備し、教育研究施設の建設を進める。

2013年には文系1・2年次生の今出川キャンパスへの移転を予定している。

女子大学キャンパス整備事業

京田辺、今出川両キャンパスの教育環境を、さらに安全で快適な施設設備へと整備し、学生にとって一層魅力的なキャンパスの実現をめざす。

中学校・高等学校統合移転事業

2010年4月、岩倉校地で中学校と高等学校が統合し、8月に中学校の移転が完了。新校舎の建築、学校教育の変化に即応できる諸施設・設備を新しく整備した。

香里創立60周年記念事業

変革の時代にも動じることのない良心で社会をリードする人物の養成をめざし、創立60周年記念事業として、特別教室棟、高校統合校舎の建設、中学校舎と周辺の整備ならびに設備を一新する。

女子中学校・高等学校 キャンパス整備事業

「地の塩」「世の光」として、社会のあらゆる場所で、時代を超えて活躍する女性の育成をめざし、新校舎建設を軸に、校地全体の教育環境の向上と施設の整備充実を図る。

国際中学校・高等学校 キャンパス整備事業

帰国生徒と国内一般生徒が共に刺激しあひながら共に学び育つ教育、また、生徒一人ひとりの個性を尊重し、その特性を伸ばす教育環境の施設、設備の充実を図る。

小学校屋内運動施設建設事業

豊かな心や創造性、健やかな身体を育むための教材や施設設備の拡充、知的好

2. 記念行事

同志社創立135周年記念「大磯新島講座」——終焉の地において——

日時 2010年1月23日
15時～16時30分

場所 大磯町立福祉センター
さざれ石

講師 同志社理事長 野本 真也
演題 「新島襄の人と思想」

同志社創立135周年記念「新島襄と同志社」——展示および各種行事——

期間 2010年5月26日～31日
時間 10時～20時（最終日は17時まで）
会場 大丸京都店 6階多目的ホール
◆開会式 オープニングセレモニー
日時 2010年5月26日
9時45分～10時30分

会場 大丸京都店 6階多目的ホール
式典 テープカット／「Wild Rover IV世号」除幕式 ほか

ギリークラブによるカレッジソング斉唱、開会挨拶に続き、大谷實総長、野本真也理事長、八田英二大学長、加賀裕郎女子大学長、西田光明大丸京都店営業推

進部長がテープカット。5月31日までの記念行事「新島襄と同志社」展が開幕した。10時15分から、メキシコ・オリンピックに出場した大学ボート部クルーが使用した「Wild Rover IV世号」の除幕式を行った。



◆特別展示

・「Wild Rover IV世号」
メキシコ・オリンピック（1968年10月開催）で、同志社大学クルーがボート競技「エイト」に使用し、出走した艇。4月23日メキシコを出港し、海路搬送に約3週間を費やし、5月15日神戸港へ入港。43年ぶりに里帰りした艇を期間中展示。現在、大津市瀬田にあるボート部艇庫に保管。

・今出川キャンパスジオラマ
・洋式帆船「快風丸」模型

◆各種行事

講師 同志社大学長 八田 英二
演題 「同志社大学の改革—2013年に向けて—」

◆同志社同学校説明会 —ここから始まる未来への扉—

日時 2010年5月29日・30日
13時30分～18時
会場 大丸京都店 6階多目的ホール
参加 大学、女子大学、中学校・高等学校、香里中学校・高等学校、女子中学校・高等学校、国際中学校・高等学校、小学校、幼稚園、国際学院初等部・国際学院国際部（設置認可申請中）

同志社創立135周年記念「函館新島講座」—脱国の地において—

日時 2010年6月13日
15時～17時30分

開催期間中、同志社の建学の精神が一覧できる展示とともに、同志社の在学生、卒業生による行事と企画を通し、新島襄が抱いた志を約6000人の来場者に届ける機会となった。

・大学グリークラブ合唱
・大学応援団（指導部・チアリーダー部）による演舞
・大学マンドリンクラブOB会演奏
・大学マジック&ジャグリングサークルHocus-Focusステージ
・女子大学学芸学部音楽学科卒業生によるヴァイオリン二重奏
・女子大学学芸学部音楽学科卒業生によるヴァイオリンとチェロの二重奏
・女子中学校・高等学校マンドリンクラブ演奏
・新島八重愛用のリードオルガン演奏
・和楽集団「まんざら」箏と尺八による演奏

◆講演会

日時 2010年5月29日
12時～13時
会場 大丸京都店 6階多目的ホール
講師 同志社総長 大谷 實
演題 「同志社の教育理念」

会場 函館国際ホテル2階鳳凰の間
講師 同志社総長 大谷 實
演題 「同志社の良心教育」
寸劇 演題 「新島襄と仲間たち」
～新島襄脱国シーン再現～

出演 北海道函館水産高校生徒
協力 笑福七福神祭実行委員会
講師 同志社理事長 野本 真也
演題 「新島襄の志」

開催にあたり、新島襄が江戸から箱館（明治2年「函館」と変更）へ渡った際に乗船した洋式帆船「快風丸」の復元模型を学校法人同志社から縁の地である函館市の西尾正範市長に贈呈。北海道函館水産高校生による寸劇「新島襄と仲間たち」では、脱国に際し、友人福士卯之吉（成豊）、沢辺琢磨が新島襄に「夢忘るなよ」と激励する場面を演じた。卒業生、校友、地元市民を中心に約200人が参加。



◆新島襄海外渡航の地碑 碑前祭

日時 2010年6月14日 11時

展示目録
5月26日～5月31日
大丸京都店 6階 多目的ホール

「絵画および写真パネル」
同志社年表
新島襄生誕之地碑
快風丸
密出国の際の扮装をする新島襄
絵画「函館から密出国する新島の想像図」
漢詩「一襲弊袍三尺剣…」
ワイルド・ローヴァー号
H・S・テイラー夫妻と新島襄
ボストンに到着した時の新島の想像図
A・ハーディー肖像画（同志社校友会蔵）
フリップス・アカデミー時代の新島襄
フリップス・アカデミーのキャンパス
アーモスト大学 ジョンソン・チャペル
アンドーヴァー神学校図書館前の集合写真
ヴァーモント州ラットランド グレイス教会
絵画「ラットランドで演説する新島襄」
山本寛馬肖像画（同志社校友会蔵）
丸太町校舎時代の学生写真
旧第一寮と旧第二寮
1878年ごろの学生たち
初期の宣教師たち
絵画「自責の杖想像図」
東華学校校舎
同志社病院・京都看病婦学校
同志社大学設立の旨意（日出新聞）

油絵「山本寛馬」（同志社校友会蔵）
油絵「A. Hardy」（同志社校友会蔵）
油絵「新島八重」（同志社校友会蔵）
油絵「新島襄」（同志社校友会蔵）
油絵「ちよんまげ姿の新島襄肖像画」
「新島襄関連資料」
新島家祝物到来寛帖
新島家紋入縮緬帛紗
「函館紀行」
数学ノート Algebra
ラテン語ノート Latin part
演説草稿「文明ヲ組織スル四大元素」
演説草稿「同志社大学ヲ要スル主意」
演説草稿「真理の囚人」
遺墨「自由自治之基」
「航海詳誌」
測量術メモ
望遠鏡
西洋剃刀
革かばん
食器
ランチョンマット
刀
脇差
セイウオーリー家家族聖書
徳富蘇峰宛新島襄書簡1888年10月13日付
同志社大学設立旨意
遺言
横田安止宛新島襄書簡（複製）1889年11

場所 「新島襄海外渡航乗船之処」碑
新島襄が脱国に際し、アメリカ商船ベ
ルリン号に乗船するため小船に乗り込ん
だこの地に「新島襄海外渡航乗船之処」
碑が建立されたのは1954年。式典は、
讃美歌斉唱、来賓の挨拶に続き列席者が
碑前に花束を捧げ終了。校友・同窓、函
館市ブランド推進課長、函館市民ほか約
60人が参加。

同志社創立135周年記念「維新の志 精神的な近代化に捧げた新島襄の志」 展示企画展

期間 2010年9月18日～10月21日
会場 六本木アカデミーヒルズ 49階
ロビー

140余年前、日本は明治維新という
近代化への一歩を踏み出した。このころ
新島襄はアメリカ留学中の25歳。帰国は
明治維新から7年後。勝海舟、木戸孝允
や板垣退助とも交流し、時に、官職に就
くことを勧められたが、むしろ民間にあ
つて、教会と学校を基軸にした日本人の
「魂の改良」を終生の志とした。のち、
京都を拠点にキリスト教の伝道と教育に
全身全霊を捧げることになる。これをテ

ーマに意外な交流やその志の崇高さに触
れることのできる資料を展示。

同志社創立135周年記念 リユニオン ／ホームカミングデー 特別展

日時 2010年11月7日
10時～16時15分

会場 クラーク記念館2番教室
展示 創立135周年記念事業の紹介
新島襄と同志社の略年表や創立135
周年記念事業を25枚のパネルで紹介。卒
業生を中心に約800人が来場。同志社
で最初に礼拝堂に置かれた聖書台、日本
を脱出した際に乗船したベルリン号の船
長セイヴォリー家から寄贈を受けた聖書
（日本江戸 新島約瑟の記名が残る）など
を特別に公開。

今回制作した展示パネルは、大学各キ
ャンパスで期間を定め在学生にも公開。
クラーク記念館では同時に同志社ラグ
ビー部創部100周年記念展も開催され、
ラグビーファンが集った。

同志社創立135周年記念「能『庭上梅』 と講演

日時 2010年11月13日 16時

場所 名古屋能楽堂

1部 講話

講師 大学神学部

本井 康博教授

2部 能「庭上梅」

—新島襄を讀えて—

協力／「庭上梅」名古屋公演を
支援する会

新島襄の精神を後世に伝え、遺すため
に創作された「能『庭上梅』—新島襄を
讀えて—」を上演。新島襄の人となりや
壮大で崇高な理想や夢を学生、用務員を
通じて描写。「良心の全身に充滿したる
丈夫の起り来らん事を」など新島襄の言
葉が多く使われ来場者の感動を呼んだ。
公募抽選で来場の約600人に作品を通
し、新島精神、同志社精神を伝えること
ができた。

同志社創立135周年記念式／早天祈祷会 ◆早天祈祷会

日時 2010年11月29日 7時

場所 若王子山頂

司式 国際中学校・高等学校

山本 真司教諭

奨励 「Traveling Onward」

国際中学校・高等学校
古市 剛校長

讃美歌の斉唱とともに新島襄の墓前に
おいて364人の参加者で始まった早天
祈祷会。奨励では、真の旅人新島襄の足
跡を辿り、これまでの同志社の歴史を顧
みるとともに、大谷實総長、野本真也理
事長の祈祷により、新しい一歩への希望
を祈りのうちに一同の心に留めた。山頂
の同志社墓地には、1890年創立者新
島襄が葬られて以来、山本覚馬やデイヴ
イスをはじめ同志社にゆかりのある関係
者や教職員が埋葬されている。今日に至
る135年の歴史は、数多くの同志社人
の手で創られてきた。時を経て、同志社
墓地は、同志社人の「終着点」であり、
同時に「始発点」でもあり続ける。

墓参の道しるべとして、小冊子「同志
社墓地のご案内『Forever』」を作成し
ています。ご入用の方は法人部法人事
務室までお申し出ください。

◆創立135周年記念式

日時 2010年11月29日 9時

場所 大学神学館礼拝堂

月23日付

遺墨「時危思偉人」
遺墨「男児決志馳千里…」
遺墨「騷虞不折生草堂」
遺墨「寧為玉碎恥瓦全」
遺墨「真理似寒梅…」(複製)
遺墨「いしかねも…」
遺墨「桃李不言下自為徑」
水墨画「鶴と松」
新島襄旧蔵旅行用トランク
新島襄の着衣

「新島八重関係資料」

新島八重愛用オルガン
茶号授与書
日本赤十字社正社員証
篤志看護婦帽子

「大学ポート部関係資料」

Wild power IV世号（大学ポート部蔵）
メキシコオリンピック選手使用ジャケット、
ぼうし、くつ、かばん（個人蔵）
オリンピック出場記念盾（大学ポート部蔵）
同志社大学オリンピック出場記念品
（個人蔵）
Doshisha Sports Festival フッペン2枚
（個人蔵）
「力漕」vol.11-17

「同志社関係資料」

『明治26年度同志社報告』

同志社創立100周年記念式典参加リボン
同志社女子中学校・高等学校新生館竣工記念
バッジ
同志社商業高等学校バッジ
同志社商業高等学校バックル
校内運動会記念メダル2点
同志社創立60周年記念ピンバッジ
同志社創立90周年記念ネクタイピン
レガッタ記念メダル
ラグビー関係のネクタイピン
同志社徽章バッジ類多数

「その他の資料」

The Life and History of Robinson Crusoe
横山吉清訳『魯敏遜漂流行紀略』復刻版
（個人蔵）
『聯邦志要』上・下巻

展示目録

9月18日～10月21日
六本木アカデミーヒルズ 49階ロビー

「写真パネル」

新島襄肖像画
木戸孝允肖像写真
大久保利通肖像写真
伊藤博文肖像写真（国立国会図書館蔵）

同志社「設立始末」を加賀裕郎女子大
学長が朗読。大谷實総長は式辞で、時代
の要請に即した改革が学園全体で進展す
るなか、国際主義教育の現代の実質化へ
の期待と同志社ブランドとしての良心教
育の現代的問い直しの重要性を訴え、同
志社の飛躍を誓った。野本真也理事長か
ら永年勤務者に感謝状を贈呈し表彰。大
谷総長から同志社創立135周年記念
「懸賞論文」入賞者へ表彰状と副賞を、
野本理事長から同志社創立135周年記
念「フォトコンテスト」の入賞者へ表彰
状と副賞を贈呈した。「頌栄27」斉唱、
野本理事長の祝祷で式典は終了。
(各入賞者および作品は、学校法人同志
社のホームページに掲載しています。)

同志社創立記念礼拝は、毎年、創立記
念日直前の日曜日の午前10時30分から
早天祈祷会および創立記念式は創立記
念日の11月29日、それぞれ、午前7時、
午前9時から開催しています。この機
会に、あらためて同志社創立を記念し、
皆様とともに新島襄の抱いた志や同志
社の建学理念を思い起こすことができ
ればと願っています。

入選者を表彰

「新島襄の志と同志社の伝統」をテー
マに同志社各学校の在校生、卒業生、教
職員および広く一般を対象にフォトコン
テストを実施。募集テーマに関する作品
であれば風景、人物、静物画などジャン
ルは問わず、思い出の写真、歴史的な写
真、ゆかりの地の写真など自由応募。審
査の結果、最優秀賞1人、優秀賞3人、
佳作5人を決定した。

(入賞者および作品は、学校法人同志社
のホームページに掲載しています。)

同志社創立135周年記念「懸賞論文」 を募集

期間 2010年6月～9月
表彰 2010年11月29日 同志社創
立135周年記念式典において

入選者を表彰

「新島襄または同志社」に関する論文
を同志社各学校の在校生、卒業生および
広く一般を対象として募集。審査の結果、
最優秀賞1人、優秀賞1人、佳作1人を
決定した。

(入賞者および論文名は、学校法人同志
社のホームページに掲載しています。)

同志社創立135周年記念「東京新島講 座」――生涯の地において――

日時 2011年2月12日 13時
場所 東京神田一ツ橋 学士会館
講師 大学法学部 村田 晃嗣教授
演題 「日米中関係の展望」
講師 大学生命医科学部
渡辺 好章教授

演題 「創造とプロデュース―プロデ
ュース・テクノロジーの視点か
ら―」

2011年2月12日11時から新島襄の
生涯を祝し、新島襄生涯の地跡、東京神
田一ツ橋の学士会館敷地内の傍らに建つ
生涯記念碑前において「新島襄先生生涯
之地」碑前祭を開催。同時に、同会館に
おいて「東京新島講座―生涯の地におい
て」を開催した。学士会館は、新島襄の
生涯の地であると同時に、東京大学なら
びに日本野球の発祥の地でもある。

同志社創立135周年記念「フォトコン テスト」を実施

期間 2010年4月～9月
表彰 2010年11月29日 同志社創
立135周年記念式典において

同志社創立135周年記念今出川キャン パスジオラマの制作

クラーク記念館が開館した1894
(明治27)年頃の今出川キャンパス風景を、
国の重要文化財5棟(彰栄館、礼拝堂(チ
ヤペル)、ハリス理化学館、クラーク記
念館、有終館)を中心に1/150に縮小した
復元模型。現在、ハリス理化学館に展示。

同志社創立135周年記念洋式帆船「快 風丸」模型の制作

備中松山藩が購入した洋式帆船。新島
襄が人生で初めて乗船した快風丸。江戸
から玉島港までの航海、国禁を犯して出
港した函館港に向かうときにも乗船した
快風丸を1/30に縮小した復元模型。現
在、ハリス理化学館に展示。

同志社創立135周年記念切手シートの 発行

竣工当時の重要文化財、登録有形文化
財の建物や開校当初のキャンパス風景と
新島襄の手紙や書の言葉を組み合わせた
デザインの「寄付金付記念切手シート」
を発行。校舎は多くの人々の清心により
築かれ、同志社の今に受け継がれている。

板垣退助肖像写真(国立国会図書館蔵)
勝海丹肖像写真(国立国会図書館蔵)
井上馨肖像写真(国立国会図書館蔵)

「展示資料」

新島襄作「いしかねも」1890年1月5日
新島襄旧蔵「尋知姓名簿」
大久保利通写真
新島襄宛木戸孝允書簡1875年2月21日
木戸孝允写真
井上馨筆「説真理正」
新島襄宛伊藤博文書簡
板垣退助宛新島襄書簡
拓本「勝海丹筆墓碑文」(裏面)

「書籍」

本井康博著「新島襄の交遊 維新の元勳・先
覚者たち」
同著「新島襄を語る」(1)～(7)
大塚孝明、石里敬章著「明治の若き群像 森
有礼旧蔵アルバム」
同志社編「新島襄の手紙」
現代語で読む新島襄編集委員会「現代語で読
む新島襄」
クララ・ホイットニー(著) 二又民子(訳)
『クララの明治日記』上・下
松浦玲著「勝海丹」



この記念切手には、同志社への2ドルの
献金(200円の寄付)を含んでいる。
1シート 80円切手×10枚

皆さまのご協力、温かいご支援をお願
いします。

同志社創立135周年記念「新島襄教 育宗教論集」(岩波文庫)出版

「自由教育、自治教会、両者併行、国
家万歳」。教育活動と併行して、教会の
設立やキリスト者の育成に渾身の情熱を
注いだ新島襄。キリスト教をベースとす
る教育と教会を起爆剤として封建日本を
打破し、精神的な近代化を成し遂げよう
とした新島襄独自の教育および宗教思想

を知るうえで不可欠な資料約40本を収録。

—2010年10月15日刊行

同志社創立135周年記念『続マンガで読む新島襄』出版

10年振りにアメリカから帰国した新島襄は、江戸っ子にもかかわらず、日本の日本である古都・京都で、キリスト教学校の設立を夢見た。それは同時に日本発の私立大学を実現する途方もない夢でもあった。2008年出版に続く同志社の創立者、新島襄の後半生を描く完結編。

—2010年11月29日刊行

同志社創立135周年記念切手シート
／『新島襄 教育宗教論集』(岩波文庫)
／『マンガで読む新島襄』(前編・続編)
は、(株)同志社エンタープライズで頒布しています。

お問合せ

TEL 075-251-3027
FAX 075-251-4044

3. 記念募金

米国ラットランドのグレイス教会で献金を訴えたあの日から変わることのなく「社会の協力を得て、良心と自由を持つ人材を育てたい」「育成した人物の力で、社会全体を豊かにしたい」という新島襄の志。同志社の募金活動は、この新島襄の遺志を受け継いでいる。

◆同志社創立135周年記念募金

- ・大学今出川キャンパス新校舎建設資金募金
- ・女子大学キャンパス整備資金募金
- ・中学校・高等学校統合移転事業募金
- ・香里創立60周年記念事業募金
- ・女子中学校・高等学校施設整備事業募金
- ・国際中学校・高等学校施設等整備資金募金
- ・小学校教育支援および施設・設備整備資金募金
- ・幼稚園教育援助募金
- ・同志社創立135周年記念事業あて特別寄付金（寄付者から記念事業あての使途指定寄付金）

◆同志社創立135周年記念募金のホームページ開設



<http://bokin.doshisha.ed.jp/>

学校法人同志社および法人内各学校の諸活動に対する寄付ならびに同志社創立135周年記念募金に関するご案内は、右ホームページまたは法人部募金課で行っています。

お問合せ

TEL 075-251-3150
FAX 075-251-3090